

第2回 横浜市磯子区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和2年4月9日（木） 午前9時00分から11時50分まで												
開催場所	磯子区役所7階701会議室												
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 影山 摩子弥（横浜市立大学国際教養学部教授）</p> <p>委員 澤岡 詩野（公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員）</p> <p>荒木 弘行（東京地方税理士会横浜南支部税理士）</p> <p>河村 良昭（横浜市磯子区精神保健福祉家族会 なぎさ会会長 （磯子区社会福祉協議会当事者団体部会部会員））</p> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">磯子区福祉保健センター長</td> <td>新井 勉</td> </tr> <tr> <td>磯子区福祉保健センター担当部長</td> <td>石井 誠一</td> </tr> <tr> <td>磯子区福祉保健課長</td> <td>大山 尚久</td> </tr> <tr> <td>磯子区福祉保健課事業企画担当係長</td> <td>栗原 明日香</td> </tr> <tr> <td>磯子区総務課担当係長</td> <td>金子 佳与子</td> </tr> <tr> <td>磯子区福祉保健課事業企画担当</td> <td>鹿志村 友香、渡邊 竜也</td> </tr> </table>	磯子区福祉保健センター長	新井 勉	磯子区福祉保健センター担当部長	石井 誠一	磯子区福祉保健課長	大山 尚久	磯子区福祉保健課事業企画担当係長	栗原 明日香	磯子区総務課担当係長	金子 佳与子	磯子区福祉保健課事業企画担当	鹿志村 友香、渡邊 竜也
磯子区福祉保健センター長	新井 勉												
磯子区福祉保健センター担当部長	石井 誠一												
磯子区福祉保健課長	大山 尚久												
磯子区福祉保健課事業企画担当係長	栗原 明日香												
磯子区総務課担当係長	金子 佳与子												
磯子区福祉保健課事業企画担当	鹿志村 友香、渡邊 竜也												
欠席者	有り（鈴木 悦子（磯子区ボランティアグループ連絡協議会副会長））												
開催形態	公開 一部非公開（傍聴者0人）												
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ 2 福祉保健活動拠点申請関係書類について 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> （1）審査方法について （2）面接審査 （3）指定候補者の決定 4 今後のスケジュールについて 5 閉会 												
決定事項	<p>指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）として、次のとおり、横浜市磯子区長に報告することとする。</p> <p>○ 横浜市磯子区福祉保健活動拠点の指定候補者 社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会</p>												
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染拡大防止のためのマスク着用についての説明。 ・鈴木委員欠席の報告。 ・公平性確保のため、面接審査の公開とするが審議の様子は非公開とすることの報告。なお、傍聴希望者は無し。 												

- ・利害関係者がいなかったことの報告。

2 福祉保健活動拠点申請関係書類について

事務局から、社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会から申請書類の提出があった旨を報告するとともに、次の2点について確認した。

(1) 財務評価及び申請団体の予算項目等について

(事務局)

- ・本市（健康福祉局）が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を報告。
- ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。

3 議題

(1) 審査方法について

資料2、資料3のとおりとし、次の点を確認した。

- ・最低制限基準の考え方
- ・財務状況の評価に関する考え方

また、次の点について、事務局から説明し、決定した。

- ・前期の指定期間の実績の評価に関する考え方

(2) 面接審査

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(3) 主な質疑応答

(委員) ボランティアの育成の必要性や既存の団体が弱体化していく中では、新しい力が必要になっている。現役世代は、雇用延長もあり地域に出ていくタイミングが変わってきているが、現役世代への働きかけはどのようなことを行っているか。また、行っていきたいか。

また、自治会町内会についても、新しい担い手が入ってこないという課題がある。自治会町内会の活動を活発化するための支援はあるか。

(団体) 現役世代に対する取組を2つ紹介する。1つは区役所とともに開催している事業の「地域づくり塾」である。地域づくり塾は、福祉の切り口ではなく、自分の得意なことできることを活かして地域で活動をしてもらうことを目的とした複数回の講座である。子育て中の方など若手の参加者が多く、様々な技術を持った方が受講後に参加者同士でグループを作るなどし、地域に貢献する活動を始めている。もう1つは、市域で行っているプロボノの事業である。プロボノは働いている方が仕事そのもののスキルを登録し、地域で活かすための仕組みである。区社協は、登録されたスキルと地域とのマッチングを行っており、現役世代が、地元での活動に限らず、広域でスキルを活かすことで地域貢献に結び付けることに取り組んでいる。

また、現役世代が地域での活動をスタートさせる時期が遅くならないよう、無理なく参加できるメニュー作りが必要だと考えており、今後支援を強めていきたい。

(団体) 自治会町内会の活動を活発化するための支援としては、地縁団体とテーマ型の団体がこれまで以上に連携し、重層的に活動できるための仕組みづくりが重要と考えている。

(委員) 利用者ニーズの把握について、意見交換やアンケートを実施し、改善点は館内掲示やホームページ掲載している点、評価できる。改善したことに対する効果測定はどのようにしているか。

(団体) 窓口調査で挙げた課題を次年度の調査項目に加えるということはあるが、効果測定は行っていない。

(委員) いろいろと課題は吸い上げているようなので、フィードバックして終わりではなく、もう少し細かく分析すると良い。

(委員) 社会性のある調達、例えばフェアトレード製品を購入することは児童労働を防止する等につながるが、一方で高コストになる可能性がある。対外的な説明が求められたときのためにも、社会性のある調達をするにあたっては、明文化された調達基準を持っている必要があるが、調達基準はあるか。

(団体) 横浜市内の事業者からの調達、障害者施設からの調達を意識しているが、明確な基準はないため課題として考えていきたい。

(4) 指定管理者の候補者の選定

プレゼンテーション及び面接審査並びに事務局から前期の指定管理業務の実績に係る報告を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

横浜市磯子区福祉保健活動拠点

	申請団体	評価得点/満点※1
指定候補者	社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会	619/940点

※1 1名欠席のため、前期の指定管理業務の実績を含んだ満点の235点×4名の940点が合計の満点となります。

(審査講評)

- ・社協の強み（市域から地域まで繋がっている社協のネットワークなど）を活かしてすばらしい展開をしている。
- ・ボランティアや新たな担い手を増やすためには、公的機関だけではなく、例えばフードコートやコンビニエンスストアなど民間のいろいろな場所に出向き、公的な場所に来ない人たちに対するアプローチをしていくことを期待する。
- ・財務状況について、現状問題はないが、中長期的な収支のバランスを取るこ

	<p>とが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者は今後増えていく傾向とのこと。社会的課題でもあり、引き続き、精神障害者に対する活動やボランティアへの支援をしてほしい。 <p>指定候補者の得点は、最低制限基準の60%以上であるため、選定委員会として社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p><u>1 資料</u></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2回磯子区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会タイムスケジュール (2) 審査方法について (3) 財務分析結果報告書 (4) 応募法人出席者名簿 (5) 横浜市磯子区における福祉保健活動拠点の指定管理者の選定等に関する要綱 (6) 横浜市磯子区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会運営要綱 <p><u>2 特記事項</u></p> <p>特に無し</p>